

令和元年度

事務事業評価表 A (平成30年度の実績評価)

記入年月日
平成 31 年 4 月 10 日

Table with columns for 事務事業名, 事業区分, 担当, 政策体系, 予算科目, and 法令根拠. Includes details for '小中学校適正配置計画推進事業'.

(Do) 1. 事務事業の現状把握 (その1)

Table with 2 columns: ①事務事業の概要 (事務事業の全体像) and ②担当者が行う業務の内容・やり方・手順. Includes text about student trends and implementation plans.

Table with 2 columns: ①手段 (担当者の活動内容) and ②対象 (誰、何を対象にしているのか). Includes a table of activity indicators and target indicators with data for 29, 30, 01, 02, 03 years.

Table with 2 columns: ③意図 (この事業によって対象をどう変えるのか) and ④活動指標 (活動量を表す指標). Includes a table of target indicators and a table for '投入量 (事業費) の推移'.

Table for '30年度事業費実績 (千円)' and '01年度事業費 予算 (千円)'. Includes a table for '事業費の内訳' with rows for 01報酬, 11需用費, etc.

Table with 3 columns: 01年度の事業内容, 02年度の事業内容, 03年度の事業内容. Includes implementation details and a list of main tasks.

事務事業名	小中学校適正配置計画推進事業	事務事業No.	20103000930	所属課	学校教育課
-------	----------------	---------	-------------	-----	-------

【Do】 1. 事務事業の現状把握（その2）

(5) この事務事業を開始したきっかけは、いつ頃どんな経緯で開始されたのか？ 開始時期あるいは5年前と比べてどう変わったのか？	
少子化による小中学校の児童生徒数の減少から、平成20年度に「適正規模等検討委員会」、平成24年に「適正配置計画策定委員会」を設置し、その2つの答申を受け平成26年6月に「桜川市立小中学校適正配置基本計画」が策定された。平成31年4月現在、更なる児童生徒数の減少により、第2次桜川市立小中学校適正配置基本計画を策定中である。	
(6) この事務事業に対して関係者（住民、議会、事業対象者、利害関係者）からどんな意見や要望が寄せられているか？	
桃山中学校区において、保護者から桃山中学校敷地内での真壁小学校、紫尾小学校の統合及び桃山中学校とあわせた小中一貫教育校設立の要望・請願が行われ、平成30年に桃山学園が完成した。他の地域でも、少子化を懸念し他校との統合に関する相談が寄せられている。	
(7) 前回の事務事業評価に対する改革・改善の具体的内容	
改革改善を行う	保護者アンケートや保護者との意見交換会を定期的に開催し、意見の集約を進めていく必要がある。

【See】 2. 評価の部 *原則は事前評価。

評 価 項 目	
目的 妥当性	①政策体系との整合性（この事務事業の目的は市の政策体系に結びつくか？意図することが結果に結びついているか？）
	<input checked="" type="checkbox"/> 結びついている 公立小中学校は桜川市が運営・管理しており、その適正配置については政策体系に深く結びついている。
有効性	②公共関与の妥当性（なぜこの事業を市が行わなければならないのか？税金を投入して、達成する目的か？）（法定受託事業はその名称）
	<input checked="" type="checkbox"/> 妥当である 公立小中学校の維持管理は市の予算で行っており、公共関与は妥当である。
効率性	③成果の向上余地（成果を向上させる余地はあるか？成果の現状水準とあるべき水準との差異はないか？何が原因で成果向上が期待できないのか？）
	<input checked="" type="checkbox"/> 向上余地がある 平成26年に発表した適正配置基本計画に比べて学校の適正配置は進んでおらず、向上余地はある。しかし、学校は地域の象徴であり、住民感情に配慮しながら進める必要がある。
公平性	④廃止・休止の成果への影響（事務事業を廃止・休止した場合の影響の有無とその内容は？）
	<input checked="" type="checkbox"/> 影響有 基本計画で示した適正規模が達成されず、市が適正と考える児童生徒の教育環境が維持できない。
公平性	⑤類似事業との統廃合・連携の可能性（類似事業や統廃合の可能性はありますか？（市以外の取り組みも含む）） （他に手段がある場合）⇒ 具体的な手段、事務事業名
	<input checked="" type="checkbox"/> 余地がない 他に類似事業等はない。
公平性	⑥事業費・人件費の削減余地（成果を下げずに事業費を削減できないか？やり方を工夫して延べ業務事業を削減できないか？）
	<input checked="" type="checkbox"/> 削減余地がない 事業費はないため、削減余地はない。
公平性	⑦受益機会・費用負担の適正化余地（事業の内容が一部の受益者に偏っていて不公平ではないか？受益者負担が公平・公正になっているか？）
	<input checked="" type="checkbox"/> 公正・公平である 市内すべての公立小中学校について計画の基準に合わせて適正配置を進めるものであり、公正・公平である。

【Plan】 3. 評価結果の総括と今後の方向性（次年度計画と予算への反映）

(1) 1次評価者としての評価結果		(2) 全体総括（振り返り、反省点）																								
①目的妥当性 <input checked="" type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直し余地あり ②有効性 <input type="checkbox"/> 適切 <input checked="" type="checkbox"/> 見直し余地あり ③効率性 <input checked="" type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直し余地あり ④公平性 <input checked="" type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直し余地あり	⇒	・平成29年度から、著しい児童生徒数の減少や教育環境の変化から、「適正配置計画策定委員会」を開催し、保護者アンケートを実施しながら、適正配置の具体的な統合の組み合わせや時期について協議を重ねてきた。 ・平成31年1月に策定委員会よりの「答申」を受け、第2次計画（案）を作成し、平成31年4月よりパブリックコメントを実施する。																								
(3) 今後の事業の方向性		(4) 改革・改善による期待成果（終了・廃止・休止の場合は記入不要）																								
<input type="checkbox"/> 終了 <input checked="" type="checkbox"/> 継続 <input checked="" type="checkbox"/> 改革改善を行う <input type="checkbox"/> 現状維持 <input type="checkbox"/> 廃止 <input type="checkbox"/> 休止		（複数回答可） <input type="checkbox"/> 目的の再設定 <input type="checkbox"/> 効率性の改善 <input checked="" type="checkbox"/> 有効性の改善 <input type="checkbox"/> 公平性の改善 <input type="checkbox"/> 統廃合ができる <input type="checkbox"/> 連携ができる																								
(5) 改革、改善を実現する上で解決すべき課題（壁）とその解決策		<table border="1"> <tr> <td colspan="2"></td> <th colspan="3">コスト</th> </tr> <tr> <td colspan="2"></td> <th>削減</th> <th>維持</th> <th>増加</th> </tr> <tr> <th rowspan="3">成果</th> <th>向上</th> <td></td> <td>○</td> <td></td> </tr> <tr> <th>維持</th> <td></td> <td></td> <td>×</td> </tr> <tr> <th>低下</th> <td></td> <td></td> <td>×</td> </tr> </table>				コスト					削減	維持	増加	成果	向上		○		維持			×	低下			×
		コスト																								
		削減	維持	増加																						
成果	向上		○																							
	維持			×																						
	低下			×																						
現在、第2次桜川市立小中学校適正配置基本計画を策定しており、今後は、計画を基に小中学校の適正配置を推進してことになる。学校は、地域コミュニティの中心的な役割を持っていることから、統合の際には、保護者や地域、学校関係者の協働しながら行っていきたい。		(6) 事務事業優先度評価結果																								
		成果優先度評価結果	②																							
		コスト削減優先度評価結果	-																							

【Check】 4. 確認及び改革改善に向けての指摘事項

(1) 課長評価	(2) 部長確認及び評価（課長評価により、C、D判定及び確認が必要な場合）
課長確認後の評価 <input checked="" type="checkbox"/> B A：継続（現状維持） C：終了、廃止、休止 <input type="checkbox"/> A B：継続（改革改善を行う） D：2次評価へ提出	確認欄 <input checked="" type="checkbox"/> 確認